

緊急事態宣言後のテレワークに関する実態調査を実施 全国では4割、東京では6割がテレワーク実施

株式会社ビーブレイクシステムズ（本社：東京都品川区 代表取締役：白岩次郎 東証マザーズ上場：証券コード 3986 以下「ビーブレイクシステムズ」）は、「経営者・役員・会社員」を対象に緊急事態宣言後のテレワークに関して、インターネットによるアンケート調査（調査期間：2020年4月22日～24日、有効回答数1,061名）を実施いたしました。

■調査結果サマリー

・緊急事態宣言前より新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークを推奨されていた割合は40%、推奨されていない割合が55%だった。

・宣言後にテレワークが実施された割合は41%、テレワークは実施されていないが時差出勤が認められた割合は13%、休業になった割合は6%であった。一方、宣言前と変わらず出社している割合は36%だった。

・地域別にみると、東京は宣言前よりテレワークを推奨している割合は平均より高く（59%）、宣言後の実施状況も高い（61%）結果となった。

・テレワーク実施済の中で、以前からテレワーク制度があった割合は43%、今回の新型コロナウイルス感染症対策のために導入された割合は51%であった。職種別にみると、総務・経理・人事では今回導入された割合が高かった（67%）。

・会社でテレワークを実施していない方の41%はテレワークを実施してほしいと回答し、44%は実施してほしくないと回答。2020年4月1日～2日調査時（※）より、実施してほしい割合が増加傾向。

※2020年4月1日～2日調査時は、実施してほしいが33%、実施してほしくないが54%

・テレワークの一番の課題として、約半数が「コミュニケーションが難しい」と回答した。

詳しい調査結果は、当社運営メディア「WORK-PJ」の以下ページにてご覧いただけます。

<https://work-pj.net/archives/5537>

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ビーブレイクシステムズ 広報担当
E-MAIL : pr@bbreak.co.jp

ビーブレイクシステムズ 会社概要

商号：株式会社ビーブレイクシステムズ

本社所在地：東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

代表取締役：白岩 次郎

設立：2002年7月

事業内容：システム開発

コーポレートサイト：<https://www.bbreak.co.jp/>

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/bbreakworkpj/>

運営メディア”WORK-PJ”「働く」を考える：<https://work-pj.net/>

クラウド ERP「MA-EYES（エムエーアイズ）」

プロジェクト管理を中心に企業の業務全般をサポートする ERP システムです。業種や導入方法によって複数のシリーズを展開しています。企業の業務の効率化と生産性の向上に貢献いたします。



MA-EYES 製品サイト <https://www.bbreak.co.jp/maeyes/>

ビーブレイクシステムズにおけるクラウドサービス

ビーブレイクシステムズでは、様々なマネジメントサービスの中からお客様にとって最適なシステム・サービスを選定し、選定された複数のシステムやサービスを繋ぎ一つのシステムとしてご提案する「コネクテッド・クラウド」をご提供しています。

コネクテッド・クラウド サービスサイト <https://www.bbreak.co.jp/connectedcloud/>